

三笠市立三笠小学校

1 活動の概要

本校では、教育課程特例校として、第3学年以上に地域科を創設し、年間15時間程度、地域の教育環境を生かした学習を展開しています。第5学年では、三笠市の基幹産業である農業について学び、学校田において、田植えや稲刈りなどの活動に取り組んでいます。

2 活動の様子

(1) 学校田を生かした継続的な体験活動

地元農家の協力を得ながら、学校田で稲作体験に取り組んでいます。

田植えから稲刈りまでの一連の過程を経験することを通して、地域の産業について学び、郷土に誇りをもち、ふるさとを愛する気持ちを育むことができますようにしています。



(2) 教育ボランティアの活用

三笠小学校は、小・中一貫コミュニティスクールの指定を受け、様々な教育活動で、地域住民による教育ボランティアを活用しています。

田植えや稲刈りにおいても、多くの教育ボランティアの方にお手伝いしていただき、児童は、そうした方々との触れ合いを通して、地域を大切にする人々の思いや願いを感じています。

(3) 地域の農産物への興味・関心の高揚

自分たちで育てた米で、親子レクレーションの際に、保護者と一緒にカレーライスを作りました。

児童は、収穫の喜びや達成感、農作業の大変さを実感し、地域の農産物に対する興味・関心を高めていました。

3 Naviポイント

- 地域の自然環境と人材を効果的に生かしながら、ふるさとのよさに気付かせることが大切です。
- 年間をとおして継続的、計画的に子どもが保護者や地域住民と一緒に活動する場面を位置付けることにより、子どもの成長を学校、家庭、地域の三者が共有し、地域全体で子どもを育てる気運を高めることが大切です。